

# 行政報告に対する質疑

町長の行政報告に対し、2名の議員が質疑を行い、その内容を質問者がまとめて報告します。

## 伊奈町の平和都市宣言に

ふさわしい啓発を！



ふじはらよしはる  
藤原義春 議員

**問** 平成15年3月4日に宣言された平和都市宣言の内容は崇高なものである。抜粋すると「平和を希求する伊奈町民の願いは、また全世界の人々の願いでもある。しかし、この地球上には、いまだ核の恐怖や紛争が絶えず、世界平和が実現されてい

るとは言えない。全町民の英知をもって恒久平和の実現と平和都市の建設に全力を傾注する。ここに伊奈町は平和への誓いを新たにし、平和都市を宣言する。」この宣言の趣旨を、子どもたちが理解するために、町として何をしているのか。また、

成人の町民が理解するために、何をしているのか。  
**答** 啓発事業としては、夏休みに小学生を対象に平和施設への親子見学会を、平成15年から毎年実施している。14回目となった今年も、埼玉ピースミュージアムの見学に、大人9人、子ども16人が参加した。また、町総合文化祭での平和展において、埼玉県の平和資料館や千代田区の昭和館の展示品を公開することを通して、多くの町民に理解を深めてもらっている。

今後とも、小・中学校の児童・生徒、さらに多くの町民に対し、平和の大切さを訴えていくため、啓発事業の充実に努める。



伊奈町平和都市宣言の広告塔

## 町企業の育成は町の発展への投資

町企業に発注を



うえの なおのり  
上野尚徳 議員

**2件の賃貸借（リース）契約（小針中学校増築3510万円）（街路灯・防犯灯LED交換3615万円）について**

小針中学校増築は、緊急対応が必要でありながら、該当する補助金がかかった。

**問** 町内企業で実施でき、金額も遜色ない仕事は、町内の企業に発注すべき。リース契約とせず、町内企業での入札と出来なかったのか。

**答** 防犯灯工事は、リース契約、単年度事業等が補助金の条件だった。町内業者で「賃貸借」の入札参加登録をしている業者がなかったため。



小針中学校増築予定場所

財政状況を考慮すると、単年度での支出が困難であること等、総合的に検討した結果、賃貸借契約を選択した。

町内業者への発注で「BUY伊奈」活動の推進を

**問** 「施政並びに予算編成方針」で、「BUY伊奈」運動を推進し、町内産業の活性化を図るとある。この考え方と今回の2事業の方向性の違いは。

**答** 事業の内容等により、対応できるものと、できないものがある。

「BUY伊奈」の考えは基本に持ちながらも、財政状況や業務の内容、経済性等、総合的に検討しながら事業に取り組んでいきたい。